



## この頃思うこと

釜石市男女共同参画協議会 委員  
万城目千佳代


私には3人の子どもがいます。夫と5人家族です。  
5年ほど前に、夫が単身赴任となり、その次の年に長女が大学へ進学して家を出て、2年後に次女が大学へ進学して家を出て……。今は17歳の長男と二人暮らしとなっています。5人から2人と家から家族が一人ずつ減っていった中で感じているのは、「長男と2人だけでも結構たのしい我が家だなあ……」ということです。二人だけの夕食ですが、食べながら学校やテレビのニュース、ドラマの内容、様々なジャンルの話題で笑いあっています。もちろん、親らしく(?)叱ったりもします。喧嘩もします。それでも、私たち2人のコミュニケーションが明るく楽しく、上手くいっているのだと感じます。

子育て中の皆さんに私が伝えたい事は、子どもにとって家の中が、楽しく明るい環境であるよう努力してあげて欲しいということです。子どもにとって、家の中が楽しい環境であれば、学校に行って楽しいのはもちろん、学校で嫌なことがあったとしても、家でまた楽しい気持ちになれる。そのように気持ちのスイッチの切り替えが出来、また、気持ちを明るく楽しく出来る場があるという事は、子ども達の生きる気力にもなるのではないかと思うからです。

また、学校教育は、大人が子どもの話を聞いてあげる姿勢がなければ、期待した成果は得られないと思っています。それは、幼児期から家庭の中で始まっています。

現代の「親」は、夫婦ともに仕事をもっていたり、地域活動に学校行事、仕事から家に帰れば家事に忙しい。そんな毎日のなかで自分たちが思う以上に、子どもの「ねえねえ」という話しかけに、気が付いてあげられていないかもしれません。みなさんはいかがでしょう。

子育てをもうすぐ終える私から、小さな子どもを持つお父さん、お母さんに伝えたいのは、親から子どもに話かけることの大切さです。どうか子どもに話しかけてあげてください。「ねえねえ」という話しかけに気づき、答えてあげてください。1日30分でも良いと思います。子どもと向き合って話す時間を持つことが大切じゃないか?と私の思いです。



平成30年3月1日作成